

お仏壇ぶつだんの前でお線香をあげて手を合わせる時、とても穏やかな気持ちになります。それは、自分自身の生命いのちのつながりを自然と感ずることが出来る尊い行いだからではないでしょうか。

ご先祖さまを思ってお仏壇に手を合わせることはとても大切なことです。

しかし、お仏壇はただ単にご先祖さまをおまつりするだけの場所ではありません。

お仏壇の中心にはご本尊ほんぞんさまをおまつりいたします。

私たち曹洞宗のご本尊さまは、仏教をお開きになられたお釈迦しゃかさまです。

そして、一仏いちぶつ両祖りょうそと申しまして、お釈迦さまを中心に向かって右側に大本山だいほんざん永平寺えいへいじをお開きになられた道元どうげん禅師ぜんじさま、向かって左側に大本山だいほんざん總持寺そうじじをお開きになられた瑩山けいざん禅師ぜんじさまをおまつりいたします。

お仏壇は、私たちにとっての信仰の拠り所です。お仏壇のご本尊さまであるお釈迦さまがお示し下さった教えを、自らの生活の中で日々実践していく、その毎日が仏教徒としての信仰生活となるのです。

お仏壇にお供えするものは、五つのお供えが基本です。

「香り」、お線香やお香です。そして「お花」、「灯とう明みょう」、「お水」それから「飲食おんじき」これは食べ物ですね。ご飯だけに限らず、皆さんが召し上がるお食事をお供えください。そして、お供えしたものは無駄にしないように、いただけるものはお下げしてみんなで分け合ってくださいませ。

お参りの仕方ですが、朝まいの洗面せんめんをすませたら、朝食前にご飯やお水をお供えし、お花の水をかえて、お参りします。姿勢を正して、口ウソクに火を灯ともし、お線香を香炉こうろの真ん中にまっすぐ立てます。心を静めて、リンを一度鳴らすごとに、合掌がっしょうして一礼します。これを三度行います。さらに合掌して「南無釈迦牟尼仏なむしゃかにぶつ」とお唱えします。最後にリンを二度鳴らし合掌して一礼します。

お仏壇は、お釈迦さまへの信仰の証あかしのもと、ご先祖さまから両親へ、そして私へとつながってきたこの生命いのちに感謝する、まさに心のよりどころであります。

お子さんのいるご家庭ではぜひ一緒におまいりして下さい。そして嬉しいことも

悲しいことも、ご先祖さま、ご本尊さまに報告し、また、今日のこの日この時が、掛け替えのないものであることを改めて感じながら、日々の生活を大切にしていきたいものです。